

「延世大学校スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学教育学部・研究科2年 (氏名) 堀田満里子

この度、3月3日から23日までの3週間、韓国の延世大学で短期留学をさせていただきました。出発する前から何度か説明会があり、韓国の留学生の方がチューターとして10時間韓国語の指導にあたってくださいました。チューターさんのおかげでおいしい食べ物や遊ぶ場所、大学の雰囲気などをある程度把握することができました。出国するときもプログラムに参加する12人の京大生と一緒に行動したため仲もとても深まり、安心でした。韓国では語学堂の寄宿舎でとても快適に過ごしました。基本的に授業は午前中の4時間、午後はちょっとした文化体験または自由時間でした。授業は最初のほうは京大生のみで受けましたが、途中からはレベル別の正規の授業に参加するかたちでした。また、日本人2人に対して韓国人一人のバディーがついてくれたため、自由時間はその方々やクラスの人と過ごすことが多かったです。3週間は長い時間でしたがあっという間に過ぎ、別れが名残惜しかったです。

私はもともと韓国語のレベルにある程度自信はありましたが、実際に韓国には一度しか行ったことがなく、実際韓国で生活することには少し緊張していました。レベル分けテストでは5級に配属され、同じクラスの生徒たちは韓国での就職や大学院などを目指す人が多く、非常に刺激的でした。もちろん授業のおかげで語学力は伸びましたが、それよりもやはり韓国語をたくさん聞いてたくさん話し、慣れることで上達したと思います。3週間もすると韓国人と話すことに何の抵抗もなくなり、バディーさんと政治の話をしたり電話で出前を頼んだりしていました。

韓国での毎日は本当に充実していて、授業後の予定はいつも楽しい予定で埋まっていました。同じクラスの多国籍なメンバーやバディーさん、チューターさんや向こうで出会った韓国の方とはいまだに連絡を毎日とっており、また韓国に行くのが楽しみで仕方がありません。海外旅行には何度か行ったことがある私ですが、やはり3週間という長い期間を過ごすとはすごく愛着がわき、帰国したくない気持ちでいっぱいでした。就職活動やお金の関係で長期留学を諦め、それでもやはり韓国で勉強したいという気持ちで参加したこのプログラムでしたが、参加を決めて本当によかったと思っています。これからも出会った韓国の友達、語学堂の友達、そしてともに時間を過ごした京大生と連絡を取り、出会いを大切にしていきたいです。